

## 社会民主党が一瞬間でもわすれてならないこと

彼らはずぎのように泣き言をいう。ブルジョア的な革命的民主主義派とともに臨時政府に参加するということは、つまり、ブルジョア制度を是認し、監獄と警察、失業と貧困、財産と売淫の維持を是認することではないか、と。これは、無政府主義者か、そうでなければナロードニキにふさわしい論拠である。社会民主党はそれがブルジョア的な政治的自由であるという理由で、政治的自由のための闘争に背を向けることはない。社会民主党は、ブルジョア体制の「是認」ということを、歴史的見地から考察する。フォイエルバッハが、君はビュヒナー、フォークト、モレシヨットの唯物論を是認するのか、とたずねられたとき、彼はこうこたえた。私が唯物論を是認するのは、その過去についてであって、その未来についてではない、と。社会民主党も、これとちょうど同じようにブルジョア体制を是認する。社会民主党は、専制的＝農奴制的なブルジョア体制と比較して、共和制的＝民主主義的なブルジョア体制を是認すると述べることを、かつておそれたことはなかったし、こんごもおそれはしないであろう。だが、社会民主党はブルジョア共和制を、ただ階級支配の最後の形態として是認し、ブルジョアジーにたいするプロレタリアートの闘争のためのもっとも都合のよい舞台として是認するのであり、その監獄や警察、財産や売淫のゆえにではなく、これらのけっこうな制度にたいする広範で自由な闘争のために、それを是認するのである。

もちろん、われわれは、臨時革命政府への参加が社会民主党にとってなんの危険も伴わない、と断言するつもりは、まったくない。危険を伴わないような闘争形態や政治状態というものは、ないし、またありえない。もし革命的な階級的本能がなければ、もし科学の水準に達している全一的な世界観がなければ、またもし（新イスクラ派の同志諸君は腹をたてないようにねがいたい）頭のなかに知恵がなければ、そのときには、ストライキに参加することも危険であり——それは経済主義に導くかもしれない——、議会闘争に参加することも危険であり——それは議会主義的クレチン病におわるかもしれない——、ゼムストヴォの自由主義的民主主義派を支持することも危険である——それは「ゼムストヴォ・カンパニア計画」に導くかもしれない。そうなれば、フランス革命史について、ジョレーヌやオラルのきわめて有益な著書を読むことさえ危険である。——それは、二つの独裁についてのマルティノフの小冊子に導くかもしれない。

もちろん、もし社会民主党が、たとえ一瞬間でも、小ブルジョアジーにたいするプロレタリアートの階級的独自性をわすれるなら、もし社会民主党が、その時機でもないのに、あれこれの信頼に値いしないインテリゲンツィア的小ブルジョア政党と、われわれにとって不利な同盟を締結するなら、また、もし社会民主党が、たとえ一瞬間でもその独自の目標を見失い、プロレタリアートの階級的自覚とその独自の政治的組織との発展を（どのような政治情勢や局面のもとでも、どのような政治的転換や変革のさいにも）主眼とする必要を見失うなら、そのときには、臨時革命政府への参加はきわめて危険なものであろう。だが、くりかえしていうが、そういう事情にあるなら、どんな政治行動も同じ程度に危険である。

第8巻 プロレタリアートと農民の革命的民主主義的独裁 P296~297

『フペリョード』第14号、1905. 4. 12

## コメント

もし社会民主党が、たとえ一瞬間でも、小ブルジョアジーにたいするプロレタリアートの階級的独自性をわすれるなら、もし社会民主党が、その時機でもないのに、あれこれの信頼に値いしないインテリゲンツィア的小ブルジョア政党と、われわれにとって不利な同盟を締結するなら、また、もし社会民主党が、たとえ一瞬間でもその独自の目標を見失い、プロレタリアートの階級的自覚とその独自の政治的組織との発展を（どのような政治情勢や局面のもとでも、どのような政治的転換や変革のさいにも）主眼とする必要を見失うなら、そのときには、どんな政治行動もきわめて危険なものとなるだろう。